ブログFormat

･･････････

いつ：2024年9月29日

どこで：愛知県瀬戸市　海上の森

主催者：NPO法人　海上の森の会 　里づくりグループ

何を：

・弊社で事務局を務めるGAIAの9協議会活動の一環で、海上の森の会（里づくりグループ）が主催する「里と森の教室」に参加した。

・海上の森の里山サテライト近くの田んぼで稲刈りとハザ立ての体験をした。

・作業中、田んぼの中でアカハライモリやヒメタイコウチなど、様々な生き物を観察することができた。

所見：

・GAIAメンバーには農業の大変さを知ってもらう良い機会となった。

・田んぼの中で貴重な生き物を見ることで、里山の保全が生態系の保全に繋がることを学ぶことができた。

・海上の森の会理事長の高山様から、海上の森の起こりや活動の上での課題を聞かせていただき、保全活動の現状を学ぶことができた。

・稲刈り体験や高山様のお話しを通して、人間は自然界の一員であることを学べたのではないか。

･･･････････

ブログFormat

･･････････

いつ：2024年9月28日

どこで：愛知県幸田町　SONY幸田サイト　SONYの森

主催者：（愛知県）西三河生態系ネットワーク協議会【SONY・コープ愛知】

何を：西三河生態系ネットワーク協議会の活動の一環として、ソニーの森においてどんぐりの苗木づくりを目指して、どんぐり拾いとあわせて、森の散策森の勉強会を行いました。  
弊社は、本イベントの企画・運営を担当しました。  
地域苗木を使った地域の生態系ネットワーク作りの重要性について紹介しながら、実際に拾ったどんぐりの選別播種を行いました。  
ソニーの森は、自然共生サイトに登録されている、民間自然保護地と言われる地域です。工場の開発があった。1970年代以降、ソニーの社員の皆さんを中心に、森の再生が行われてきた。という企業による森作りの先進事例地として知られています。

所見：10組の親子参加の皆さんが、楽しく、自然に触れ合っていただけたこと、SONYさんの先進的な取組み紹介できたこととも、大変意義深かったと思っています。

･･･････････

･････

いつ：

どこで：愛知県岡崎市額田地区、トウナイドコプロジェクト実施地

主催者：NPO法人アースワーカーエナジー

何を：トウナイドコにおける持続可能な社会作りモデル実践・共創プロジェクトに関わるメンバーが集結して、フィールドで勉強会を行いました。弊社の代表小串は、日本の森の変遷と地域資源の有効活用のあり方について講演をさせていただきました。トウナイドコの自然共生サイト申請・認定の可能性、認定時のメリット＝多様な参画主体によるWinWinの関係づくりの実装の可能性についても議論しました。

所見：森の中での議論において、実際にフィールドを見て感じて、大いに議論が盛り上がりました。

･･････

･･････････

いつ：2024年9月18日

どこで：愛知県武豊町壱町田湿地

主催者：愛知県環境局自然環境課

何を：生物多様性地域リーダーの育成講座の企画運営を受託湿地の保全対策等について学ぶプログラムを企画・提供。愛知教育大学の富田准教授から湿地の特徴、湿地の保全活動委展開にあたって留意点に関するご講演を頂いた後、壱町田湿地を訪れ、現地の踏査等・見学会を行いました。さらに、壱町田湿地を守る会の畠会長から壱町田湿地の保全の歴史、特徴などについても、ご講演を頂きました。その後、今日の学びについて参加者間の共有、湿地・里山を取り巻く課題等について意見交換を行いました。

所見：本日は、全6回企画されている、本講座の中の1回目に当たります。湿地・里山とも、しっかり手入れ、管理、草刈り・間伐して守る････ということを、参加者の皆さんにはしっかりご理解いただけた様です。大きな成果があったと思っています。

･･･････････

･･････････

いつ：2024年9月21日

どこで：名古屋市・名古屋港ポートビル～藤前干潟

主催者：愛知県 環境局 資源循環推進課

背景：海ごみ問題を考える親子エコツアーの企画・運営支援に係わる業務受託。海ごみに係わるネイチャーポジティブ講演・研修を企画・運営を担当しました。

何を：名古屋港ポートビル展望台から森林～都市～海が川でつながっていることを体感して頂いた後、藤前干潟へ移動。移動後、海岸清掃を行いました。そして、回収した海ゴミを使ったビンゴゲームを行い、海ゴミの特徴についてゲームを通じて学びました。さらに、その後、マイクロプラスチックに注目した、選べる環境学習プログラムを展開しました。探究的な学習チームはマイクロぷらすっチックの比重に注目したプログラム、楽しむ学習チームはマイクロプラスチックを使った万華鏡作りを行いｍした。

所見：参加者の皆さんには楽しみにながら、海ごみの実態、海ごみ減らすためには発生原因者である都市住民の意識改革、行動変容が不可欠であることを学んで頂きました。

･･･････････